

五箇山の観光客の動向に関する研究：2023年調査と2019年調査¹の比較を中心に

A study on the trend of tourists in Gokayama: A comparison between the 2023 survey and the 2019 survey

佐藤悦夫、大倉桃²、武凌佑、東海愛弓、藤田永遠、田中啓雅

SATO Etsuo, OOKURA Momo TAKESHI Ryosuke, TOKAI Ayumi,
FUJITA Towa, TANAKA Keiga

2023年11月に五箇山で観光客の動向調査を行った。この調査によると、2019年の調査と比較して、大きく変わったのは、観光客の居住地の割合である。2019年時点では、新幹線効果も薄れ、比較的距離が近く、五箇山へのアクセスも容易な中部地域からの観光客が多くなった。しかし、2023年の調査では、再び関東地域からの観光客が増加している。一方、観光客の行動パターンに関しては、大きな変化はなく通過型の観光地となっている。本稿では、調査に基づいた五箇山の観光振興の方向性について検討した。

キーワード： 世界遺産、五箇山、北陸新幹線

1. はじめに

2015年3月に北陸新幹線が開業し北陸を訪れる観光客は増加した。筆者は2015年11月に五箇山における新幹線開業後の把握するために調査を行った（佐藤、他 2016）。それから、4年経過した2019年11月に北陸新幹線開業の影響がどのように変化したのかを把握するために再び調査を行った（佐藤、他 2020）。さらに2023年11月に定点観測のための調査を行った。

五箇山における入込数の変化をみると、2018年670千人、2019年661千人、2020年265千人、2021年285千人、2022年327千人、2023年401千人と変化している（富山県地方総政局観光振興室、(公社)とやま観光推進機構 2023）。コロナ禍以前は、年間60万から70万人の観光客が来ていたが、コロナ禍により20万人台まで減少し、2023年もまだコロナ禍前までは回復していない。

¹ 北陸新幹線が開業した2015年の観光客の行動パターンがどのように変化したかを知るために2019年11月に五箇山で観光客の動向調査を行った。また2023年11月の調査は、さらに4年後の変化を知るための定点調査である。アンケート内容に関しては、2015年調査、2019年調査、2023年調査と同じである。

² : 大倉桃、武凌佑、東海愛弓、藤田永遠、田中啓雅は2023年度佐藤ゼミ3年生の学生である。学生は、アンケート調査を実施し、またアンケートの集計・分析を行った。

本稿の目的は、①2019年の調査と比較しながら五箇山を訪れる観光客の行動パターンを対面式アンケート調査により把握すること、②年齢別、地域別の行動パターンの特徴を把握すること、③調査結果を踏まえ、「第2次南砺市交流観光まちづくりプラン」やポストコロナ社会を見据えた五箇山の新しい観光の方向性を検討することである。五箇山における観光調査に関しては筆者の研究があるが、本稿でも過去の研究成果と比較しながら検討する（佐藤 2006、2009、2010、2011、2012、2014、2015、2017、佐藤・他 2016、2020）。

2、2023年度の五箇山における観光客の全体的動向

(1) 回答者の属性

2023年11月3日（日）と11月4日（月）に五箇山地域の菅沼集落、相倉集落で観光客に対する対面式のアンケート調査を実施した。対面式アンケートの回答者総数は363人（菅沼集落164人、相倉集落199人）であった（表2-1）。まず、回答者の属性を見てみると、性別では男性が52.6%（n=191）、女性が44.6%（n=162）であった（表2-2）。また、回答者の年齢構成は、50歳代が25.3%（n=92）と最も多く、次に60歳代24.5%（n=89）、40歳代16.0%（n=58）と続く。また、30歳代は7.7%（n=28）と少ない（表2-3）。

2019年のデータと比較すると回答者の年齢層では、2019年と同じように、50歳代が最も多く、次に、40歳代と60歳代と続く。

表 2-1：調査地ごとの回答者数表

調査地	2023年の調査		2019年の調査	
	人	%	人数	%
菅沼	164	45.2%	219	56.2%
相倉	199	54.8%	170	43.8%
合計	363	100.0%	389	100.0%

（出所：2019年のデータは、佐藤、他 2020）

表 2-2：男女別回答者数

	2023年の調査		2019年の調査	
	人	%	人数	%
男性	191	52.6%	184	47.3%
女性	162	44.6%	197	50.6%
性別無回答	2	0.6%	0	0.0%
無回答	8	2.2%	8	2.1%
合計	363	100.0%	389	100.0%

（出所：2019年のデータは、佐藤、他 2020）

表 2-3：年齢別回答者数

年齢	2023年の調査		2019年の調査	
	人	%	人数	%
20歳未満	4	1.1%	9	2.3%
20歳代	51	14.0%	59	15.1%
30歳代	28	7.7%	48	12.3%
40歳代	58	16.0%	77	19.7%
50歳代	92	25.3%	78	20.0%
60歳代	89	24.5%	74	19.0%
70歳代以	39	10.7%	38	9.7%
無回答	2	0.6%	6	1.5%
合計	363	100.0%	389	100.0%

（出所：2019年のデータは、佐藤、他 2020）

(2) 回答者の居住地

訪れた観光客の居住地について富山県内が25.9%(n=94)で県外が73.8%(n=268)、外国が0.3%(n=1)で、2019年度と同様に県外観光客が圧倒的に多いという結果となった。また、2023年度では県外のみ絞って順位付けすると関東からの観光客が最も多く24.5%(n=89)で、次いで関西地域が

表 2-4 : 2023 年調査における居住地

地域	都道府県	人	地域ごとの割合
北陸	富山県	94	44.6%
	石川県	57	
	福井県	11	
	計	162	
関東	東京都	40	24.5%
	神奈川県	13	
	埼玉県	9	
	茨城県	9	
	千葉県	7	
	群馬県	6	
	栃木県	5	
	計	89	
関西	大阪府	11	11.3%
	京都府	9	
	兵庫県	8	
	奈良県	6	
	滋賀県	3	
	三重県	2	
	和歌山県	2	
計	41		
中部	愛知県	19	8.5%
	岐阜県	7	
	静岡県	5	
	計	31	
甲信越	新潟県	11	3.6%
	長野県	2	
	計	13	
東北	宮城県	2	1.4%
	青森県	1	
	福島県	1	
	山形県	1	
	計	5	
四国	高知県	2	0.8%
	愛媛県	1	
	計	3	
中国	広島県	4	1.4%
	山口県	1	
	計	5	
九州	福岡県	6	2.2%
	佐賀県	2	
	計	8	
北海道	北海道	1	0.3%
	計	1	
外国	台湾	1	0.3%
	計	1	
無回答		4	1.1%
合計		363	100.0%

表 2-5 : 2019 年調査における居住地 6

地域	都道府県	人	地域ごとの割合
北陸	富山県	84	32.9%
	石川県	35	
	福井県	9	
	計	128	
関東	東京都	24	18.0%
	神奈川県	23	
	埼玉県	10	
	千葉県	12	
	茨城県	1	
	計	70	
関西	大阪府	17	12.9%
	滋賀県	6	
	京都府	11	
	兵庫県	7	
	三重県	6	
	和歌山県	3	
計	50		
中部	愛知県	52	20.8%
	岐阜県	17	
	静岡県	12	
	計	81	
甲信越	新潟県	5	3.1%
	山梨県	4	
	長野県	3	
	計	12	
東北	宮城県	3	1.8%
	福島県	3	
	岩手県	1	
	計	7	
四国	高知県	2	1.0%
	香川県	2	
	計	4	
中国	岡山県	1	1.0%
	山口県	1	
	広島県	2	
	計	4	
九州	佐賀県	1	1.8%
	福岡県	2	
	熊本県	4	
	計	7	
北海道	北海道	1	0.3%
	計	1	
外国	ロシア	4	4.9%
	中国	4	
	台湾	4	
	カナダ	2	
	トロント	2	
	シアトル	2	
	フランス	1	
計	19		
無回答		6	1.5%
合計		389	100.0%

(出所:2019年のデータは、佐藤、他 2020)

11.3%(n=41)、中部地域 8.5% (n=31) となっている。また、都道府県別にみると石川県 57 人、東京都 40 人、愛知県が 19 人となっていた (表 2-4)。

2019 年度の調査では、旅行者が最も多い地域は中部地域で 20.8%(n=81)、次に関東地域が 19.0% (n=74) であった (表 2-5)。2023 年度は、関東からの観光客は再び増加傾向にある。

(3) 同伴者ならびに同伴者数の状況

同伴者に関しては、「家族・親戚と」と回答した人は 66.7% (n=242) で最も多く、次に「友人と」と回答した人は 19.0% (n=69)であった。そのほか、「自分一人で」と回答した人は 8.0% (n=29)であった(表 2-6)。同伴者数に関しては、「5人以下」が 92.0% (n=334) で最も多かった。また、11人以上のグループは、3.9% (n=14) であり、大型観光バスを利用した団体旅行客は全体としては少ない(表 2-7)。

2019年のデータと比べると、大きな変化はない。

表 2-6 : 同伴者

同伴者	2023年度調査		2019年度調査	
	人	%	人	%
自分ひとりで	29	8.0%	21	5.4%
家族・親戚と	242	66.7%	221	56.8%
友人と	69	19.0%	123	31.6%
学校のグループで	0	0.0%	2	0.5%
職場のグループで	13	3.6%	6	1.5%
地域などの団体で	4	1.1%	7	1.8%
その他	6	1.7%	3	0.8%
無回答	0	0.0%	6	1.5%
合計	363	100.0%	389	100.0%

(出所:2019年のデータは、佐藤、他 2020)

表 2-7 : 同伴者数

同伴者数	2023年の調査		2019年の調査	
	人	%	人	%
1~5人	334	92.0%	343	88.2%
6~10人	12	3.3%	8	2.1%
11~15人	4	1.1%	5	1.3%
16~20人	0	0.0%	5	1.3%
21~25人	9	2.5%	0	0.0%
25~30人	1	0.3%	0	0.0%
31~35人	0	0.0%	0	0.0%
36~40人	0	0.0%	0	0.0%
41人~	0	0.0%	1	0.3%
無回答	3	0.8%	27	6.9%
合計	363	100.0%	389	100.0%

(出所:2019年のデータは、佐藤、他 2020)

(4) 訪問回数

表 2-8 : 訪問回数

訪問回数	2023年の調査		2019年の調査	
	人	%	人	%
初めて	211	58.1%	266	68.4%
2回目	57	15.7%	60	15.4%
3回目	35	9.6%	20	5.1%
4回以上	60	16.5%	39	10.0%
無回答	0	0.0%	4	1.0%
合計	363	100.0%	389	100.0%

(出所:2019年のデータは、佐藤、他 2020)

2023年調査における訪問回数に関しては、「初めて」の回答者数が、58.1% (n=211) と最も多かった(表 2-8)。次に「4回以上」が 16.5% (n=60)であった。2019年調査と比較すると「3回目」「4回目」の数が増えており、リピーターが増加している。

(5) 新幹線の利用、交通手段

2023年の調査において、近くの都市までの新幹線利用に関しては、19.0% (n=69) が利用しており、利用した駅は富山駅 20人、金沢駅 28人であった(表 2-9、表 2-10)。2019年の調査と比較すると、新幹線の利用客は増加しており、また金沢を起点として五箇山に訪れている観光客が多い。

五箇山地域を訪れる交通手段としては、「自家用車」が 75.2% (n=273) であり、2019年の調査の結果と変わらず最も多かった。次に、「レンタカー」が 12.7% (n=46)であった。一方、「観光バス」の利用人数が 2019年の調査結果から減少していることから、自動車を利用して五箇山地域を訪れる観光客が多くなっている傾向がある。北陸新幹線を利用して訪れる観光客は、レン

タクシーを併用していることが考えられる。

表 2-9 : 新幹線の利用

	2023年の調査		2019年調査	
	人	%	人	%
新幹線利用				
はい	69	19.0%	49	12.6%
いいえ	288	79.3%	323	84.6%
無回答	6	1.7%	11	2.8%
合計	363	100.0%	389	100.0%

(出所: 2019年のデータは、佐藤、他 2020)

表 2-10 : 新幹線の利用駅

	2023年の調査		2019年調査	
	人	%	人	%
新幹線利用駅				
金沢駅	28	40.6%	15	30.6%
新高岡駅	17	24.6%	9	18.4%
富山駅	20	29.0%	16	30.7%
黒部宇奈月温泉駅	4	5.8%	1	2.0%
無回答	0	0.0%	8	16.3%
合計	69	100.0%	49	100.0%

(出所: 2019年のデータは、佐藤、他 2020)

表 2-11 : 交通手段

交通手段	2023年の調査		2019年の調査	
	人	%	人	%
自家用車	273	75.2%	264	67.9%
世界遺産バス	13	3.6%	18	4.6%
高速バス	3	0.8%	7	1.8%
観光バス	13	3.6%	35	9.0%
レンタカー	46	12.7%	54	13.9%
その他	15	4.1%	5	1.3%
無回答	0	0.0%	6	1.5%
合計	363	100.0%	389	100.0%

(出所: 2019年のデータは、佐藤、他 2020)

の割合が伸びている。

(6) 五箇山での滞在時間

2023年の調査では、五箇山地域での滞在時間は、「1時間程度」が51.2% (n=186) と最も多く、次いで「2時間程度」が26.4% (n=96)、「30分程度」が10.7% (n=39) となっている(表 2-12)。

2019年の調査と比較すると、全体の傾向は同じであるが、「1時間程度」「2時間程度」

表 2-12 : 滞在時間

滞在時間	2023年の調査		2019年の調査	
	人	%	人	%
30分程度	39	10.7%	75	19.3%
1時間程度	186	51.2%	180	46.3%
2時間程度	96	26.4%	78	20.1%
3~4時間程度(半日)	27	7.4%	32	8.2%
1日	3	0.8%	4	1.0%
1日以上	10	2.8%	9	2.3%
無回答	2	0.6%	11	2.8%
合計	363	100.0%	389	100.0%

(出所: 2019年のデータは、佐藤、他 2020)

駅上平 12.7% (n=46) が多く、次に道の駅たいら 11.0% (n=40) である。道の駅上平では、レストラン「いわな」が、また道の駅たいらでは紙漉き体験が人気である(表 2-13)。

(7) 五箇山での立ち寄り先

アンケートサンプル数 363 人の中で、相倉集落を訪問した客は 63.1% (n=229)、菅沼集落を訪問した観光客は 71.9% (n=261) であった。

合掌集落以外で訪れた場所として道の

表 2-13：五箇山での立ち寄り先

立ち寄り先(複数回答)	2023年の調査		2019年の調査	
	人	%	人	%
相倉集落	229	63.1%	256	65.8%
菅沼集落	261	71.9%	239	61.4%
五箇山総合案内所	26	7.2%	14	3.6%
道の駅上平(ささら館)	46	12.7%	19	4.9%
岩瀬家	10	2.8%	13	3.3%
村上家	25	6.9%	30	7.7%
道の駅たいら(五箇山和紙の里)	40	11.0%	20	5.1%
その他	9	2.5%	15	3.9%

(出所:2019年のデータは、佐藤、他 2020)

また、「買い物する人」は、49.6%(n=180)で、金額は飲食と同様に2000円以内が73.4%(n=135)と多かった(表2-16、表2-17)。

2019年の調査と比較して、旅ナカで消費する金額が徐々に増えている傾向にある。

(8)五箇山での消費額

五箇山で「飲食をする人」は、48.8%(n=177)で、使用する金額は2000円以内が76.2%(n=135)と多かった(表2-14、表2-15)。

表 2-14：飲食の有無表

飲食の有無	2023年の調査		2019年の調査	
	人	%	人	%
飲食する	177	48.8%	172	44.2%
飲食しない	131	36.1%	150	38.6%
無回答	55	15.2%	67	17.2%
合計	363	100.0%	389	100.0%

(出所:2019年のデータは、佐藤、他 2020)

表 2-15：飲食の金額

飲食の金額	2023年の調査		2019年の調査	
	人	%	人	%
1~1000	73	41.2%	29	7.5%
1001~2000	62	35.0%	81	20.8%
2001~3000	13	7.3%	17	4.4%
3001~4000	0	0.0%	4	1.0%
4001~	3	1.7%	2	0.5%
無回答	26	14.7%	256	65.8%
合計	177	100.0%	389	100.0%

(出所:2019年のデータは、佐藤、他 2020)

表 2-16：買い物の有無

買い物	2023年の調査		2019年の調査	
	人	%	人	%
する	180	49.6%	144	37.0%
しない	130	35.8%	156	40.1%
無回答	53	14.6%	89	22.9%
合計	363	100.0%	389	100.0%

(出所:2019年のデータは、佐藤、他 2020)

表 2-17：買い物の金額

買い物の金額	2023年の調査		2019年の調査	
	人	%	人	%
1~1000	95	52.8%	21	5.4%
1001~2000	37	20.6%	55	14.1%
2001~3000	13	7.2%	23	5.9%
3001~4000	3	1.7%	5	1.3%
4001~	1	0.6%	8	2.1%
無回答	31	17.2%	277	71.2%
合計	180	100.0%	389	100.0%

(出所:2019年のデータは、佐藤、他 2020)

(9) 旅行日程

旅行日程は、50.1%(n=182)が「日帰り」で、2019年調査とほぼ同じである。次が「2泊3日」が24.5%(n=89)と「一泊2日」より多い。この傾向は、2019年調査も同様である(表2-18)。

表 2-18 : 旅行日程

旅行日程	2023年調査		2019年調査	
	人	%	人	%
日帰り	182	50.1%	186	47.8%
1泊2日	64	17.6%	80	20.6%
2泊3日	89	24.5%	96	24.7%
3泊4日	24	6.6%	15	3.9%
4泊以上	4	1.1%	12	3.1%
無回答	0	0.0%	0	0.0%
合計	363	100.0%	389	100.0%

(出所:2019年のデータは、佐藤、他 2020)

(10) 旅行動機

旅行動機は「世界遺産を見るため」が40.2% (n=146) と2019年同様に最も多く、次いで「保養、休養のため」31.4% (n=114) という結果であった。2019年と比べると、全体的にはあまり大きな変化はないが「保養・休養のため」が大きく増加した(表2-19)。

表 2-19 : 旅行動機

	2023年度調査		2019年度調査	
	人	%	人	%
①保養・休養のため	114	31.4%	79	20.3%
②おいしいものを食べるため	53	14.6%	47	12.1%
③知識や休養を深めるため	44	12.1%	28	7.2%
④家族や友達との親睦を深めるため	61	16.8%	61	15.7%
⑤現地の人や生活に触れたくて	18	5.0%	12	3.1%
⑦世界遺産を見るため	146	40.2%	156	40.1%
⑧その他	61	16.8%	88	22.6%
無回答	1	0.3%	24	6.2%

(出所:2019年のデータは、佐藤、他 2020)

(11) 満足度

全体363人の内67.2% (n=244) が「大変満足」であり、30.9% (n=112) が「やや満足」であると回答した(表2-20)。この傾向は、2019年調査とほぼ同一である。

表 2-20 : 満足度

満足度	2023年の調査		2019年の調査	
	人	%	人	%
大変満足	244	67.2%	235	60.4%
やや満足	112	30.9%	141	36.2%
やや不満	4	1.1%	3	0.8%
不満	1	0.3%	2	0.5%
無回答	2	0.6%	8	2.1%
合計	363	100.0%	389	100.0%

(出所:2019年のデータは、佐藤、他 2020)

3、2023年調査におけるの五箇山観光客の年齢別特徴ならびに地域別特徴

(1) 年齢別特徴

表3-1：年齢別特徴

	20歳未満		20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
<同伴者>														
自分ひとり	0	0.0%	8	15.7%	1	3.6%	4	6.9%	7	7.6%	6	6.7%	3	7.7%
家族・親戚	3	75.0%	18	35.3%	19	67.9%	40	69.0%	71	77.2%	66	74.2%	24	61.5%
友人	1	25.0%	20	39.2%	7	25.0%	9	15.5%	7	7.6%	14	15.7%	11	28.2%
学校のグループ	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
職場のグループ	0	0.0%	2	3.9%	1	3.6%	5	8.6%	4	4.3%	0	0.0%	0	0.0%
地域などの団体	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	3.3%	1	1.1%	0	0.0%
その他	0	0.0%	3	5.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	2.2%	1	2.6%
計	4	100.0%	51	100.0%	28	100.0%	58	100.0%	92	100.0%	89	100.0%	39	100.0%
<訪問回数>														
初めて	4	100.0%	43	84.3%	20	71.4%	35	60.3%	55	59.8%	39	43.8%	14	35.9%
2回目	0	0.0%	4	7.8%	6	21.4%	12	20.7%	11	12.0%	18	20.2%	5	12.8%
3回目	0	0.0%	2	3.9%	2	7.1%	2	3.4%	11	12.0%	12	13.5%	6	15.4%
4回以上	0	0.0%	2	3.9%	0	0.0%	9	15.5%	15	16.3%	20	22.5%	14	35.9%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	4	100.0%	51	100.0%	28	100.0%	58	100.0%	92	100.0%	89	100.0%	39	100.0%
<滞在時間>														
30分程度	2	50.0%	6	11.8%	3	10.7%	9	15.5%	11	12.0%	5	5.6%	3	7.7%
1時間程度	0	0.0%	27	52.9%	12	42.9%	32	55.2%	48	52.2%	50	56.2%	17	43.6%
2時間程度	1	25.0%	15	29.4%	10	35.7%	14	24.1%	26	28.3%	18	20.2%	10	25.6%
3～4時間程度(半日)	1	25.0%	2	3.9%	1	3.6%	3	5.2%	6	6.5%	10	11.2%	4	10.3%
1日	0	0.0%	1	2.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.1%	1	1.1%	1	2.6%
1日以上	0	0.0%	0	0.0%	2	7.1%	0	0.0%	0	0.0%	4	4.5%	3	7.7%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.1%	1	2.6%
計	4	100.0%	51	100.0%	28	100.0%	58	100.0%	92	100.0%	89	100.0%	39	100.0%
<旅行日程>														
日帰り	3	75.0%	19	37.3%	19	67.9%	26	44.8%	46	50.0%	46	51.7%	22	56.4%
1泊2日	0	0.0%	11	21.6%	5	17.9%	14	24.1%	20	21.7%	10	11.2%	4	10.3%
2泊3日	1	25.0%	16	31.4%	4	14.3%	13	22.4%	23	25.0%	23	25.8%	9	23.1%
3泊4日	0	0.0%	5	9.8%	0	0.0%	5	8.6%	3	3.3%	8	9.0%	2	5.1%
4泊以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	2.2%	2	5.1%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	4	100.0%	51	100.0%	28	100.0%	58	100.0%	92	100.0%	89	100.0%	39	100.0%
<立ち寄り先(複数回答可)>														
相倉集落	4	100.0%	38	74.5%	19	67.9%	31	53.4%	58	63.0%	57	64.0%	21	53.8%
首沼集落	1	25.0%	28	54.9%	17	60.7%	44	75.9%	74	80.4%	67	75.3%	28	71.8%
五箇山総合案内所	0	0.0%	7	13.7%	3	10.7%	2	3.4%	9	9.8%	4	4.5%	1	2.6%
道の駅上平(ささら館)	0	0.0%	9	17.6%	2	7.1%	5	8.6%	15	16.3%	8	9.0%	7	17.9%
岩瀬家	0	0.0%	2	3.9%	0	0.0%	1	1.7%	4	4.3%	2	2.2%	1	2.6%
村上家	0	0.0%	7	13.7%	3	10.7%	2	3.4%	5	5.4%	5	5.6%	3	7.7%
道の駅たいら(五箇山和紙の里)	0	0.0%	7	13.7%	7	25.0%	8	13.8%	5	5.4%	8	9.0%	5	12.8%
その他	0	0.0%	2	3.9%	0	0.0%	0	0.0%	3	3.3%	1	1.1%	3	7.7%
<訪問目的(複数回答可)>														
保養・休養のため	0	0.0%	16	31.4%	10	35.7%	17	29.3%	28	30.4%	30	33.7%	12	30.8%
おいしいものを食べるため	0	0.0%	10	19.6%	5	17.9%	9	15.5%	13	14.1%	7	7.9%	9	23.1%
知識や休養を深めるため	0	0.0%	11	21.6%	0	0.0%	8	13.8%	12	13.0%	7	7.9%	5	12.8%
家族や友達との親睦を深めるため	0	0.0%	11	21.6%	8	28.6%	12	20.7%	11	12.0%	13	14.6%	6	15.4%
現地の人や生活に触れたくて	0	0.0%	4	7.8%	2	7.1%	2	3.4%	4	4.3%	5	5.6%	1	2.6%
世界遺産を見るため	3	75.0%	28	54.9%	11	39.3%	30	51.7%	38	41.3%	30	33.7%	5	12.8%
その他	1	25.0%	6	11.8%	3	10.7%	7	12.1%	11	12.0%	20	22.5%	13	33.3%
無回答	0	0.0%	1	2.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
<満足度>														
大変満足	4	100.0%	41	80.4%	22	78.6%	39	67.2%	59	64.1%	51	57.3%	26	66.7%
やや満足	0	0.0%	10	19.6%	6	21.4%	19	32.8%	30	32.6%	35	39.3%	12	30.8%
やや不満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	2.2%	2	2.3%	0	0.0%
不満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.1%	1	2.6%
計	4	100.0%	51	100.0%	28	100.0%	58	100.0%	92	100.0%	89	100.0%	39	100.0%

表3-1は、年齢層ごとの主な行動パターンを比較したものである。「20歳未満」のグループはサンプル数が少ないので分析の対象から外す。

同伴者においては、「家族・親類」がどの年齢層でも多いが、「友人」に関しては、20歳代や30歳代の年齢層が多い。訪問回数においては、4回目以上の複数回の訪問が多いのは、40歳以上の各年齢層である。滞在時間においても、どの年齢層も「1時間程度」が多い。

訪問動機においては、どの年齢層においても「世界遺産をみるため」と「保養・休養のため」という回答が多い。

(2) 地域別特徴

表 3-2 : 地域別特徴

	富山県		北陸(富山を除く)		関東		関西		中部	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
<同伴者>										
自分ひとり	6	6.4%	2	2.9%	10	11.2%	5	12.2%	3	9.7%
家族・親戚	65	69.1%	54	79.4%	49	55.1%	24	58.5%	24	77.4%
友人	21	22.3%	8	11.8%	19	21.3%	11	26.8%	4	12.9%
学校のグループ	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
職場のグループ	2	2.1%	2	2.9%	7	7.9%	0	0.0%	0	0.0%
地域などの団体	0	0.0%	1	1.5%	3	3.4%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	1	1.5%	1	1.1%	1	2.4%	0	0.0%
計	94	100.0%	68	100.0%	89	100.0%	41	100.0%	31	100.0%
<訪問回数>										
初めて	26	27.7%	29	42.6%	76	85.4%	27	65.9%	21	67.7%
2回目	16	17.0%	11	16.2%	9	10.1%	5	12.2%	10	32.3%
3回目	14	14.9%	12	17.6%	1	1.1%	7	17.1%	0	0.0%
4回以上	38	40.4%	16	23.5%	3	3.4%	2	4.9%	0	0.0%
計	94	100.0%	68	100.0%	89	100.0%	41	100.0%	31	100.0%
<交通手段>										
自家用車	89	95%	66	97.1%	31	34.8%	30	73%	29	93.5%
世界遺産バス	2	2%	0	0.0%	7	7.9%	3	7%	0	0.0%
高速バス	1	1%	1	1.5%	2	2.2%	0	0%	0	0.0%
観光バス	0	0%	1	1.5%	9	10.1%	1	2%	0	0.0%
レンタカー	0	0%	0	0.0%	32	36.0%	4	10%	2	6.5%
その他	2	2%	0	0.0%	8	9.0%	3	7%	0	0.0%
無回答	0	0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0%	0	0.0%
計	94	100%	68	100.0%	89	100.0%	41	100%	31	100.0%
<滞在時間>										
30分程度	8	8.5%	5	7.4%	9	10.1%	10	24.4%	4	12.9%
1時間程度	50	53.2%	33	48.5%	44	49.4%	16	39.0%	16	51.6%
2時間程度	25	26.6%	21	30.9%	25	28.1%	6	14.6%	10	32.3%
3~4時間程度(半日)	10	10.6%	6	8.8%	7	7.9%	2	4.9%	1	3.2%
1日	1	1.1%	1	1.5%	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%
1日以上	0	0.0%	1	1.5%	2	2.2%	7	17.1%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	1	1.5%	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%
計	94	100.0%	68	100.0%	89	100.0%	41	100.0%	31	100.0%
<旅行日程>										
日帰り	90	95.7%	64	94.1%	7	7.9%	2	4.9%	8	25.8%
1泊2日	1	1.1%	1	1.5%	26	29.2%	18	43.9%	11	35.5%
2泊3日	3	3.2%	3	4.4%	43	48.3%	19	46.3%	10	32.3%
3泊4日	0	0.0%	0	0.0%	11	12.4%	2	4.9%	1	3.2%
4泊以上	0	0.0%	0	0.0%	2	2.2%	0	0.0%	1	3.2%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	94	100.0%	68	100.0%	89	100.0%	41	100.0%	31	100.0%
<満足度>										
大変満足	64	68.1%	41	60.3%	63	70.8%	32	78.0%	19	61.3%
やや満足	30	31.9%	25	36.8%	23	25.8%	8	19.5%	12	38.7%
やや不満	0	0.0%	2	2.9%	2	2.2%	0	0.0%	0	0.0%
不満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	1	1.1%	1	2.4%	0	0.0%
計	94	100.0%	68	100.0%	89	100.0%	41	100.0%	31	100.0%

富山県内、富山県を除く北陸地域、関東地域、関西地域、中部地域の行動パターンを分析した(表 3-2)。訪問回数では、富山県内の観光客が距離的にも近いので複数回訪問している割合が多い。また、関東、関西のグループにおいても「4回以上」の訪問者がいる。

交通手段では、どのグループも「自家用車」が多いが、関東地域では「レンタカー」の利用者が多かった。新幹線で富山または金沢まで来てそこからレンタカーを借りるケースが多かった。

滞在時間では、どのグループでも「2時間以内」が大部分であるが、中には、「3~4時間」の滞在もいる。

旅行日程では、富山県内の観光客富山県を除く北陸地域の観光客は、「日帰り」が多い。関東地域、関西地域、中部地域の観光客は、「1泊2日」や「2泊3日」などの宿泊を伴う日程で旅行している。満足度は、どの地域でも高い。

4、まとめ

筆者は、以前に2019年の調査に基づく提案として、①博物館施設の充実、②五箇山全体の回遊性の向上、③長期滞在者の誘客、④食の充実に関して言及した（佐藤、他 2020）。その後、南砺市では2023年3月に「第2次南砺市交流観光まちづくりプラン」を策定し、2023年度から2032年度までの10年間の観光政策を定めた（南砺市 2023）。このプランによると、「五箇山・井波を起点とした周遊したくなる観光的付加価値の創造」という基本戦略のなかに、「五箇山合掌の里の再生」と「地域個性を活かした“小さなまちめぐり”ブランド戦略」が施策として挙げられている。

「合掌の里」は世界遺産の菅沼集落に隣接し、合掌家屋を移築した宿泊施設や会議施設を有する施設であり、長期滞在やワーケーションも可能である。筆者は、以前五箇山における観光振興の方向性に関して次のように述べた（佐藤 2017）

五箇山における観光振興の方向性とは、①「質の高い観光地としての五箇山」をめざす。それは、本物志向の方向性であり、「写真撮影の五箇山から伝統文化継承地としての五箇山」への変化が求められる。合掌家屋を中心とする周辺環境も含めた景観整備やカヤ場の維持、食や民謡や踊りにおけるブラッシュアップ、和紙や蚕を中心とする伝統産業の活性化、柳宗悦らの民芸運動家の再評価など、「伝統文化の継承地」として深堀する素材は多くある。

また、五箇山が質の高い観光地になると、②「質の高い（目的意識の高い）観光客を呼び込む」ことも可能となる。世界遺産の保全に興味のある観光客、一人旅をしながら自己成長をめざす若者などが集う場所としての五箇山がイメージされる。

生活空間が観光資源である観光地は、住民意識がダイレクトに観光客に伝わる場でもある。伝統文化や環境保全に関する住民の高い意識、住民のこだわりをつがえるのが五箇山である。

「合掌の里」は、伝統文化を守る場として、あるいは住民と観光客が交流できる場として活用するのが望ましいと思われる。南砺市は、2004年に福野町、井波町、城端町、平村、上平村、利賀村、井口村、福光町が合併してできた。それぞれの旧町村には、世界遺産をはじめとして個性豊かな文化があり、それが現在まで続いている³。これらの個性豊かな文化資源を結び付け、南砺市全体として稼げる観光地としての施策が求められている。五箇山は、観光客を集める中心的な地域として機能させ、そこから南砺市全体に観光客をその興味に応じて回遊させる観光ルートを作ることにも可能である。

³ 福野町では、ヘリオスを中心とした「スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールド」、城端町では善徳寺や「曳山祭り」、井波町では瑞泉寺や木彫、利賀村では「国際演劇祭」、福光町では、福光美術館を中心とした棟方志功の作品鑑賞、など。

資料：アンケート調査の質問票

ご旅行アンケート(菅沼集落、相倉集落)

富山国際大学 現代社会学部

性別 ①男 ②女 ③性別無回答

年齢 ①20歳未満 ②20歳代 ③30歳代 ④40歳代 ⑤50歳代 ⑥60歳代 ⑦70歳以上

問1 居住地はどちらですか。(〇は一つ)

①富山県内→市町村名 () ②富山県外→都道府県名 ()

③外国→国名 ()

問2 どなたといらっしゃいましたか。(〇は一つ)

①自分ひとりで ②家族・親戚と ③友人と ④学校のグループで

⑤職場のグループで ⑥地域などの団体で ⑦その他 ()

問3 ご自身を含めて何人でいらっしゃいましたか。() 人

問4 旅行で五箇山を訪れたのは今回を含めて何回目ですか。(〇は一つ)

①はじめて ②2回目 ③3回目 ④4回目以上

問5 五箇山へ来る際、近くの都市まで北陸新幹線を利用しましたか。(〇は一つ)

①はい →降りた駅名(・金沢駅・新高岡駅・富山駅・黒部宇奈月温泉駅) ②いいえ

問6 五箇山へ来るために利用した交通手段を教えてください。(〇は一つ)

①自家用車 ②世界遺産バス ③高速バス ④観光バス(乗車都市:)

⑤レンタカー(借りた都市:) ⑥その他()

問7 五箇山での滞在時間はおよそどのくらいですか。(〇は一つ)

①30分程度 ②1時間程度 ③2時間程度 ④3~4時間(半日) ⑤1日 ⑥1日以上(宿泊)

問8 五箇山ではどこに立ち寄りますか。(複数回答可)

①相倉集落 ②菅沼集落 ③五箇山総合案内所 ④道の駅上平(ささら館) ⑤岩瀬家

⑥村上家 ⑦道の駅たいら(五箇山和紙の里) ⑧その他()

問9 五箇山で飲食や土産品購入をしましたか(する予定ですか)。

(1) 飲食 ①する→一人約()円 ②しない

(2) 土産品購入 ①する→一人約()円 ②しない

問10 今回のご旅行の日程についておたずねします。(〇は一つ)

①日帰り ②1泊2日 ③2泊3日 ④3泊4日 ⑤4泊以上

問11 今回のご旅行で宿泊する場合は、宿泊地はどちらですか。

1泊目(地名) 2泊目(地名)

3泊目(地名) 4泊目以上(地名)

問12 五箇山を訪れた動機はなにですか。(複数回答可)

①保養、休養のため ②おいしいものを食べるため ③知識や教養を深めるため

④家族や友達との親睦を深めるため ⑤現地の人や生活にふれたくて ⑦世界遺産を見るため

⑧その他()

問13 五箇山の印象はどうですか。

①大変満足 ②やや満足 ③やや不満 ④不満

問14 何かご意見等あればご記入してください。

ご協力ありがとうございました。

参考文献

佐藤悦夫

- 2006 「五箇山地域の観光に関する一考察」『富山国際大学 国際教養学部紀要』Vol. 2, PP.81-94、富山国際大学
- 2009 「富山県五箇山地域の観光客動向に関する一考察」『富山国際大学 現代社会学部紀要』第1巻、PP.161-190、富山国際大学
- 2010 「富山県五箇山地域の観光客動向に関する一考察：2009年調査を中心に」『富山国際大学 現代社会学部紀要』第2巻、PP.147-178、富山国際大学
- 2011 「富山県五箇山地域の観光客動向に関する一考察：2010年調査を中心に」『富山国際大学 現代社会学部紀要』第3巻、PP.103-137、富山国際大学
- 2012 「世界遺産・五箇山の観光の現状と課題」、中島恭一・田広林監修、東アジア交流プロジェクト編『東アジアの交流と地域の発展』、pp.237-257、桂書房
- 2014 「観光資源としての世界遺産～平泉と五箇山の比較」『富山国際大学現代社会学部紀要』第6巻、pp.75-86 富山国際大学
- 2015 「外国人の見た五箇山と白川郷～観光地としての魅力の検討～」『富山国際大学現代社会学部紀要』第7巻 pp.63-62 富山国際大学
- 2017 「五箇山の観光の課題と振興～世界遺産を学びと交流の場作りに～」
『信用金庫』2017年1月号、pp.17-21

佐藤悦夫、今井雪乃、佐野里穂、野村彩乃、松木峰音、宮崎春奈、森本絵里香

- 2016 「北陸新幹線開業後の五箇山地域における観光客の動向および大学生の視点から見た五箇山の新しい魅力に関する一考察」『富山国際大学現代社会学部紀要』第8巻 pp.35-44 富山国際大学

佐藤悦夫、木下健一郎、木村建太、高田あゆ、寺田和沙、夏野敦、堀唯人、丸山貴弘、吉田光希、黄蓉、張晶

- 2020 「五箇山の観光客の動向に関する研究：2019年調査と2015年調査の比較を中心に」
『富山国際大学紀要』第13巻、第1号、pp.1-14、富山国際大学

富山県観光・交通振興局観光振興課、(公社)とやま観光推進機構

- 2023 「令和5年富山県観光客入込数等 (R5.1.1～R5.12.31)」

南砺市

- 2023 「第2次南砺市交流観光まちづくりプラン」 南砺市

(https://www.city.nanto.toyama.jp/cms-sypher/open_imgs/info/0000085929.pdf)